

○三重大学大学院医学系研究科規程

(平成16年3月24日規程第313号)

改正	平成17年4月13日規程	平成18年3月30日規程
	平成19年4月11日規程	平成20年3月31日規程
	平成21年3月30日規程	平成21年7月8日規程
	平成22年3月19日規程	平成22年10月1日規程
	平成23年3月9日規程	平成24年3月14日規程
	平成24年5月10日規程	平成25年3月29日規程
	平成26年3月27日規程	平成26年9月10日規程
	平成27年3月12日規程	平成28年2月10日規程
	平成28年5月11日規程	平成29年3月8日規程
	平成29年5月10日規程	平成29年9月20日規程

(趣旨)

第1条 三重大学大学院医学系研究科(以下「研究科」という。)に関する事項は、三重大学大学院学則及び三重大学学位規則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(研究科の目的)

第1条の2 研究科は、豊かな独創性と使命感を持って医学・看護学を発展させ、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成すること、さらに、優れた研究成果を世界に発信することによって、人類の健康と福祉に貢献することを目的とする。

(専攻の目的)

第1条の3 修士課程医科学専攻は、生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成することを目的とする。

2 博士前期課程看護学専攻は、看護学の理論と応用を教育・研究することによって、社会のニーズに沿った保健・医療・福祉の向上に寄与するとともに、看護の発展に貢献する高度な専門性を備えた人材を育成することを目的とする。

3 博士課程生命医科学専攻は、生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成し、かつ、優れた研究成果を世界に発信することを目的とする。

4 博士後期課程看護学専攻は、看護学の専門分野から事象の詳細を掘り下げて追究し、他の看護学分野や他の学問領域等と協働しながら、看護学の専門分野における新たな知見を導き出し、独自性豊かで地域に役立つ看護学研究成果を生み出す「俯瞰的視野」を持った人材を育成し、かつ、優れた看護学研究成果を世界に発信することを目的とする。

(入学者の選考)

第2条 入学者の選考は、学力試験及び成績証明書等を総合して行う。

2 前項の選考方法、時期等については、そのつど定める。

(指導大学教員)

第3条 研究科の教育、研究及び論文の指導のため、指導大学教員を置く。ただし、必要があるときは、副指導大学教員を置くことができる。

2 研究科の指導大学教員は、当該課程担当の教授をもって充てる。ただし、必要があるときは、准教授又は別に定める者をもって充てることができる。

(授業科目及び単位)

第4条 研究科における各専攻の授業科目及び単位数は、修士課程医科学専攻は、別表第1、博士前期課程看護学専攻は、別表第2、博士課程生命医科学専攻は、別表第3、博士後期課程看護学専攻は、別表第4のとおりとする。

- 2 前項に定めるもののほか、博士課程生命医科学専攻においては、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランに基づく授業科目及び単位数は、別表第5のとおりとし、未来医療研究人材養成拠点形成事業に基づく授業科目及び単位数は、別表第6のとおりとする。

（履修方法）

第5条 修士課程医科学専攻の学生は、専攻の授業科目について、別表第1に定める履修方法により、30単位以上を修得しなければならない。

- 2 博士前期課程看護学専攻の学生は、専攻の授業科目について、指導大学教員の指導により、次の各号の区分に従い、30単位以上を修得しなければならない。

（1） 必修科目14単位

（2） 選択科目16単位以上

- 3 博士課程生命医科学専攻の学生は、専攻の授業科目について、別表第3、別表第5及び別表第6に定める履修方法により、30単位以上を修得しなければならない。

- 4 博士後期課程看護学専攻の学生は、専攻の授業科目について、指導大学教員の指導により、次の各号の区分に従い、16単位以上を修得しなければならない。

（1） 必修科目12単位

（2） 選択科目4単位以上

- 5 学生の履修に関する特例は、別に定める。

（履修科目の届出）

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を、毎学期の始めの所定の期日までに、研究科長に届出なければならない。

- 2 前項の届出後は、原則として授業科目を変更することはできない。

（単位の認定）

第7条 各授業科目の単位の認定は、試験又は研究報告等により、授業科目担当大学教員が行う。

（試験）

第8条 試験は筆答又は口答とし、授業科目の終了する学期末又は学年末に行う。ただし、授業科目によっては、適当な時期に行うことがある。

（追試験及び再試験）

第9条 学生が、疾病その他やむを得ない理由により、正規の試験を受けることができなかった場合は、願出により、追試験を行うことがある。

- 2 学生は、不合格となった授業科目について1回限り、再試験を受けることができる。

（成績）

第10条 履修した授業科目の成績は、AA、A、B、C、Dの評語で表わし、AA、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。

（論文提出資格）

第11条 修士課程医科学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、別表第1に定める履修方法により、授業科目30単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

- 2 博士前期課程看護学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、第5条第2項に定める区分に従い、別表第2に定める授業科目30単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

- 3 博士課程生命医科学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、別表第3、別表第5及び別表第6に定める履修方法により、授業科目30単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

- 4 博士後期課程看護学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、別表第4に定める履修方法により、授業科目16単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。
- 5 前項の規定にかかわらず、本学大学院学則第45条の規定により、学位授与を申請する者は、学位論文を提出することができる。
- 6 前項の申請者の資格その他については、別に定める。

(最終試験)

第12条 最終試験は、所定の単位を修得し、かつ、学位論文を提出した者につき、学位論文を中心として筆答又は口答により行う。

(再入学及び転入学)

第13条 本学大学院学則第22条の規定により、再入学又は転入学を志望する者の選考は、研究科教授会で行う。

- 2 前項の選考方法は、研究科教授会で定める。

(雑則)

第14条 この規程に定めるもののほか、研究科に関し必要な事項は、研究科教授会で定める。

附 則

- 1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成15年度以前の入学者は、第4条の規定については、なお従前の例による。

附 則(平成17年4月13日規程)

- 1 この規程は、平成17年4月13日から施行し、平成17年4月1日から適用する。
- 2 平成16年度以前の入学者は、第4条の規定については、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月30日規程)

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成19年4月11日規程)

- 1 この規程は、平成19年4月11日から施行し、平成19年4月1日から適用する。
- 2 改正後の規程第10条、別表第1及び別表第3の規定については、平成18年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成20年3月31日規程)

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第3及び別表第4の規定については、平成19年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成21年3月30日規程)

- 1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第2、別表第3及び別表第4の規定については、平成20年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成21年7月8日規程)

- 1 この規程は、平成21年7月8日から施行し、平成21年4月1日から適用する。
- 2 改正後の規程別表第4の規定については、平成20年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成22年3月19日規程)

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第1、別表第3及び別表第4の規定については、平成21年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成22年10月1日規程)

- 1 この規程は、平成22年10月1日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第3の規定については、平成22年9月以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成23年3月9日規程)

- 1 この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第2及び別表第3の規定については、平成22年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成24年3月14日規程)

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第1、別表第2及び別表第3の規定については、平成23年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成24年5月10日規程)

- 1 この規程は、平成24年5月10日から施行し、平成24年4月1日から適用する。
- 2 改正後の規程別表第4の規定については、平成23年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成25年3月29日規程)

- 1 この規程は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第1及び別表第3の規定については、平成24年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成26年3月27日規程)

- 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第3の規定については、平成25年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成26年9月10日規程)

- 1 この規程は、平成26年10月1日から施行する。
- 2 平成26年9月以前の入学者については、改正後の規程別表第1及び別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。

附 則(平成27年3月12日規程)

- 1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度以前の入学者については、改正後の規程別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。

附 則(平成28年2月10日規程)

- 1 この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度以前の入学者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成28年5月11日規程)

- 1 この規程は、平成28年5月11日から施行し、平成28年4月1日から適用する。
- 2 平成27年度以前の入学者については、改正後の別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成29年3月8日規程)

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前の入学者については、改正後の規程別表第1，別表第3及び別表第6の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成29年5月10日規程)

- 1 この規程は、平成29年5月10日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
- 2 平成28年度以前の入学者については、改正後の規程別表第3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成29年9月20日規程)

- 1 この規程は、平成29年10月1日から施行する。
- 2 平成29年9月以前の入学者については、改正後の規程別表第1，別表第3及び別表第5の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1(第4条関係)
 授業科目及び単位数

専攻	授業科目		単位数	備考
医科学	必修	医科学概論	2	履修方法 1) 必修科目22単位と選択科目から8単位以上、合計30単位以上を履修する。 2) 医科学演習及び医科学特別研究は2年次に、それ以外の科目は2年次までに履修する。
		人体形態学	2	
		人体機能学	2	
		病理・病態学	2	
		社会医学	2	
		臨床医学概論	2	
		医科学特論Ⅰ	1	
		医科学特論Ⅱ	1	
		医科学演習	4	
		医科学特別研究	4	
	選択	分子医科学	2	
		環境生命科学	1	
		免疫学	2	
		オミックス創薬科学	1	
		臨床薬理・薬剤学	2	
		高度先進医療学	2	
		生命科学特論	2	
		医療工学・情報学特論	2	
		人体形態学実習	1	
		分子医科学実習	1	
		基礎生体科学	1	
		先端医学医療セミナー	2	
		医科学セミナー	1	
		基礎統計学	2	
		基礎疫学	2	

	医学教育学概論	1
	家庭医療学・総合診療医学原理概論	1
	家庭医療・総合診療総論	2
	国際保健医療概論	2
	環境健康科学	1
	医療統計学	2
	公共政策学Ⅰ	2
	公共政策学Ⅱ	2
	医療経済学	1
	疫学・行動科学	2
	感染症疫学	1
	栄養医学	1
	人口統計学	1

別表第2(第4条関係)
授業科目及び単位数

専攻	授業科目		単位数
看護学	必修	看護理論	2
		看護研究法	2
		看護学特別研究	10
		看護学課題研究	6
	選択	看護倫理	2
		看護管理学	2
		看護情報統計学	2
		国際比較看護論	2
		フィジカルアセスメント	2
		看護病態機能学Ⅰ	2
		看護病態機能学Ⅱ	2
		看護コンサルテーション論	2
		看護学セミナー	2
		看護教育学特論	2
		看護教育学演習Ⅰ	2
		看護教育学演習Ⅱ	2
		看護生涯教育論	2
		実践基礎看護学Ⅰ	2
		実践基礎看護学Ⅱ	2
		実践基礎看護学Ⅲ	2
		実践基礎看護学Ⅳ	2
		がん看護対象論Ⅰ	2
		がん看護対象論Ⅱ	2
		がん看護対象論Ⅲ	2
		がん看護援助論Ⅰ	2
		がん看護援助論Ⅱ	2
		がん看護援助論Ⅲ	2
		がん看護実習Ⅰ	2

	がん看護実習Ⅱ	5
	成人看護学対象論Ⅰ	2
	成人看護学対象論Ⅱ	2
	成人看護学援助論Ⅰ	2
	成人看護学援助論Ⅱ	2
	母性看護・助産学対象論Ⅰ	2
	母性看護・助産学対象論Ⅱ	2
	母性看護・助産学援助論Ⅰ	2
	母性看護・助産学援助論Ⅱ	2
	小児看護学対象論	2
	小児看護学援助論	2
	小児看護学特論Ⅰ	2
	小児看護学特論Ⅱ	2
	老年看護学対象論Ⅰ	2
	老年看護学対象論Ⅱ	2
	老年看護学援助論Ⅰ	2
	老年看護学援助論Ⅱ	2
	高齢者ケアシステム論Ⅰ	2
	高齢者ケアシステム論Ⅱ	2
	老年看護実習Ⅰ	2
	老年看護実習Ⅱ	4
	精神看護学対象論	2
	精神看護学援助論	2
	リエゾン精神看護	2
	精神看護学特論	2
	ストレス科学概論	2
	健康科学特論	2
	代替医療概論	2
	代替医療特論	2
	地域看護学対象論	2
	地域看護学援助論	2
	地域保健学特論Ⅰ	2
	地域保健学特論Ⅱ	2

別表第3(第4条, 第5条, 第11条関係)

授業科目及び単位数

専攻	講座等区分	授業科目	単位数	備考
生命医科学	共通科目	生命医科学特論Ⅰ	2	履修方法 1) 所属教育研究分野の演習及び実験・実習Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ各6単位計18単位を, 原則として3年次までに履修する。演習及び実験・実習Ⅱ, Ⅲの受講は, 原則として, それぞれ演
		生命医科学特論Ⅱ	2	
		臨床医科学特論Ⅰ	2	
		臨床医科学特論Ⅱ	2	
		臨床研究特論	2	
		大学院セミナー	2	
		生体侵襲ダイナミクス	2	
		留学生セミナー	2	

演習 及び 実験・ 実習	基礎医学系講座	国際保健医療特論	2	習及び実験・実 習Ⅰ、Ⅱの履修 後に可能とな る。 2) 指導大学教 員の指導によ り、共通科目か ら6単位以上並 びに所属以外の 教育研究分野の 演習及び実験・ 実習から6単位 以上を履修す る。 合計30単位以 上を修得するも のとする。 (※) 1) 各教育研究 分野の演習及び 実験・実習は、 演習3単位、実 験・実習3単位 から構成され計 6単位となる。 2) 留学生セミ ナーは、日本人 の学生も履修可 能な科目とす る。
		神経再生医学・細胞 情報学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6*	
		発生再生医学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		機能プロテオミクス Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		幹細胞発生学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		分子生理学Ⅰ、Ⅱ、 Ⅲ	6	
		修復再生病理学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		腫瘍病理学Ⅰ、Ⅱ、 Ⅲ	6	
		統合薬理学Ⅰ、Ⅱ、 Ⅲ	6	
		分子病態学Ⅰ、Ⅱ、 Ⅲ	6	
		感染症制御医学・分 子遺伝学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		免疫学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		医動物・感染医学 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		環境分子医学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		公衆衛生・産業医学 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		法医法科学Ⅰ、Ⅱ、 Ⅲ	6	
		医学医療教育学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		免疫制御学Ⅰ、Ⅱ、 Ⅲ	6	
		成育社会医学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		動物機能ゲノミクス Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		遺伝子病態制御学 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
	臨床医学系講座	循環器・腎臓内科学 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		血液・腫瘍内科学 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		消化器内科学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		呼吸器内科学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		代謝内分泌内科学 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	6	
		神経病態内科学Ⅰ、 Ⅱ、Ⅲ	6	
		リウマチ学Ⅰ、Ⅱ、	6	

Ⅲ	
家庭医療学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
精神神経科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
小児科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
皮膚科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
放射線医学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
検査医学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
臨床薬剤学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
肝胆膵・移植外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
消化管・小児外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
胸部心臓血管外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
乳腺外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
産科婦人科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
脳神経外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
運動器外科学・腫瘍集 学治療学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
腎泌尿器外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
眼科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
耳鼻咽喉・頭頸部外 科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
口腔・顎顔面外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
形成外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
麻酔集中治療学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
臨床麻酔科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
救急災害医学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
病態解析内科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
新生児学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
成育医学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
健康増進・予防医療 学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
遺伝子・免疫細胞治 療学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
臨床創薬学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6

	先進的脳血管内治療学講座	先進的脳血管内治療学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
	システムズ薬理学講座	システムズ薬理学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
	認知症医療学講座	認知症医療学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
	先進医療外科学講座	先端的外科技術開発学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
	スポーツ整形外科科学講座	スポーツ整形外科科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
	脊椎外科・医用工学講座	脊椎外科・医用工学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6
	先進画像診断学講座	先進画像診断学講座Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6

別表第4(第4条関係)
授業科目及び単位数

専攻	授業科目			単位数	備考
看護学	共通科目	必修	看護学研究方法論	2	履修方法 1) 共通科目の必修科目4単位，専門科目のうち必修科目8単位及び選択科目から4単位以上，合計16単位以上を修得する。
			保健医療統計論	2	
	専門科目	必修	後期看護学特別研究	8	
			看護職生涯教育学特論	2	
		選択	高度実践基礎看護学特論	2	
			成熟期看護学特論	2	
			母子看護学特論	2	
			精神・ストレス健康科学特論	2	
			地域看護学特論	2	
			看護職生涯教育学演習	2	
			高度実践基礎看護学演習	2	
			成熟期看護学演習	2	
			母子看護学演習	2	
			精神・ストレス健康科学演習	2	
			地域看護学演習	2	

別表第5(第4条関係)
授業科目及び単位数

	コース等区分		授業科目	単位数	備考
生命医科学専攻・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」	コース共通科目		腫瘍学総論	2	履修方法 1) コース共通科目6単位を，原則として3年次までに履修する。 コース共通科目は，がん医療学総論 2単位 がん医療学各論は4単位とする。 2) 1年次に指導大学教員の指導により，所属コースの分野科目(演習及び実験・実習)から2科目を
	分野科目(演習及び実験・実習)	ライフステージに応じた集学的治療を担う腫瘍内科専門医養成コース	腫瘍学各論	4	
			血液・腫瘍内科学A，B	*6	
			呼吸器内科学A，B	6	
			消化器内科学A，B	6	
			小児科学A，B	6	
			皮膚科学A，B	6	
			産科婦人科学A，B	6	
			運動器外科学・腫瘍集学治療学A，B	6	
			脳神経外科学A，B	6	

養成プラン		肝胆膵・移植外科学A, B	6	選択し、分野科目（演習及び実験・実習）A, B各6単位計24単位を、原則として3年次までに履修する。分野科目（演習及び実験・実習）Bの受講は、原則として、それぞれ分野科目（演習及び実験・実習）Aの履修後に可能となる。
		乳腺外科学A, B	6	
		消化管・小児外科学A, B	6	
		腎泌尿器外科学A, B	6	
		口腔・顎顔面外科学A, B	6	
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学A, B	6	
	ライフステージに応じた放射線治療・集学的診療を実践する人材養成コース	放射線診断学A, B	6	合計30単位以上を修得するものとする。 （*）各コースの分野科目（演習及び実験・実習）は、演習3単位、実験・実習3単位から構成され計6単位となる。
		放射線治療学A, B	6	
		粒子線治療学A, B	6	
		がんの集学的治療A, B	6	
		放射線腫瘍学A, B	6	
		高精度放射線治療学, 小線源治療A, B	6	
	婦人科腫瘍におけるゲノム医療従事者養成コース	婦人科がん治療学A, B	6	
		婦人科悪性腫瘍手術手技学A, B	6	
		婦人科・泌尿器外科学A, B	6	
		婦人科病理学A, B	6	
		婦人科悪性腫瘍放射線治療学A, B	6	
		婦人科悪性腫瘍化学療法学A, B	6	
	ライフステージに応じた乳癌診療を担う人材養成コース	乳腺腫瘍学総論A, B	6	
		乳腺疾患の手術療法A, B	6	
		乳腺疾患の診断A, B	6	
		乳癌の集学的治療A, B	6	
	ライフステージおよびゲノム情報に応じた個別化医療を推進するがん専門薬剤師養成コース	医療薬剤学A, B	6	
		腫瘍薬効評価学A, B	6	

別表第6(第4条, 第5条, 第11条関係)

授業科目及び単位数

生命科学専攻・ 未来医療研究材養成 拠点形成事業	コース等区分		授業科目	単位数	備考
	コース共通科目		統計学	2	履修方法 1) 指導大学教員の指導により、共通科目から6単位以上を、原則として3年次までに履修する。 2) 1年次に指導大学教員の指導により、各コースを選択し、分野科目（演習及び実験・実習）A, B, C, D各6単位計24単位を、または他の分野科目との組合せにより各6単位計24単位を、原則として3年次までに履修する。各コース科目（演習及び実験・実習）C, Dの受講は、原則として、それぞれ分野科目（演習及び実験・実習）A, Bの履修後に可能となる。 合計30単位以上を修得するものとする。
			疫学	2	
			医学教育学（※）	1	
			家庭医療学・総合診療医学原論	1	
			家庭医療・総合診療各論	2	
	分野科目 （演習及び 実験・実習）	総合診療のための PhDコース	家庭医療学・総合診療医学A, B, C, D	*6	（※）アカデミックGP教育コースを選択した者は、医学教育学が必修となる。 （*）各コースの分野科目（演習及び実験・実習）は、演習3単位、実験・実習3単位から構成され計6単位となる。
			地域医療学A, B, C, D	6	
		アカデミックGP教育コース	医学教育学A, B, C, D	6	